

赤井川村地域公共交通活性化協議会 開催結果

会議名	赤井川村地域公共交通活性化協議会 令和2年度第3回
開催日時・場所	赤井川村役場 第3会議室 令和2年12月3日(木) 10:30~11:40
出席者	出席委員: 15名 他: 代理出席 2名、随行者 0名、委任状 4名
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 説明・協議事項</p> <p>(1) 赤井川村・余市間 市町村運営有償運送(交通空白輸送)の運行状況について</p> <p>(2) 北海道中央バスの運行状況について</p> <p>(3) 赤井川村地域公共交通計画策定支援業務の中間報告について</p> <p>(4) 赤井川村生活支援体制整備事業協議体からの情報提供について</p>
会議資料	別紙のとおり
<p>会議結果</p> <p>(1) 赤井川村・余市間 市町村運営有償運送(交通空白輸送)の運行状況について ○特に質疑なし。</p> <p>(2) 北海道中央バスの運行状況について ○北海道中央バス(株)より「赤井川線」の利用状況について説明。 ○新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言により、5月をピークに利用者が大幅減少。夏場より利用者回復傾向にはあるものの、11月時点においても長引くコロナ禍の影響を受け対前年より利用者は減少している。 ○人口減少、少子化により事業運営が厳しく、また、乗務員不足に瀕しており路線維持情勢は悪化している。昨年12月より日曜日、祝日を運休しているが、平均乗車人数は2~3人程度である。令和4年3月を目途として「赤井川線」の存廃協議を開始したく、この場で提案させていただきたい。</p> <p>*委員からの質問事項</p> <p>・バスは高齢者にとって重要な路線である。令和4年3月が路線廃止の目途とお聞きしたが、柔軟に対応するお考えはあるのか?</p> <p>(中央バス回答)</p> <p>令和4年3月を目途としてお伝えした。協議次第により、柔軟に対応していきたいと考えている。</p> <p>(協議会会長発言)</p> <p>・全国的な状況及び昨年12月のダイヤ改正(日曜・祝日の運休)を受け、遠からず、このような協議は避けられないと考えていた。</p>	

- ・本協議会において、本年度より地域公共交通計画の策定を進めており、地域事業者と協議を行い、新たな交通体系を検討していきたいと考える。村においても、幹線交通である赤井川村・余市間の路線廃止は考えていなく、代替策を検討していきたい。

(3) 赤井川村地域公共交通計画策定支援業務の中間報告について

○支援業務受託会社（日本データサービス(株)）より、各種調査結果、今後の方向性について説明

*委員からの質問事項

- ・交通弱者対策と観光分野を含めてバス利用可能な分母を広げ、公共交通を検討する視点が必要ではないか。
- ・高校進学を控えて村から転出するケースも見られる。定住促進の観点からも、交通施策を検討して欲しい。

(協議会会長回答)

- ・通学、移送サービス、村外からの来訪者、また、ご意見のあった定住促進に繋がるような「まちづくり施策」として公共交通を考えていきたい。

(事務局発言)

- ・地域交通懇談会において、落合・常盤地区住民より、バス停（常盤）について、バス利用者の安全確保から移設を検討して欲しいとの意見があった。検討願いたい。

(中央バス回答)

- ・来春のバスダイヤ改正に合わせて、バス停移設を検討したい。

(4) 赤井川村生活支援体制整備事業協議体からの情報提供について

○資料3により、事務局より説明。

(協議会会長発言)

- ・協働のむらづくりの観点からも、住民団体からこのような情報提供をいただき、感謝している。また、協議体自ら住民同士の支え合いとして送迎ボランティア活動を検討されているので、期待したい。

*委員からの意見

- ・自身もこの協議体に参画している。公共交通、移送サービスと分けし、この協議会においても議論いただきたい。

(5) その他情報交換

*委員からの意見

- ・公共交通について自分なりに調べているが、デマンドバスが廃止されている事例もある。デマンド交通のデメリットとして考えられることをご教示願いたい。

(日本データサービス回答)

- ・廃止の事例は各地で見受けられる。一番の要因は、定時運行もデマンド（予約型）運行も、運行経費に大きな差が生じないことである。また、最近のコロナ禍の状況により、密を避けるために「乗り合い」を避ける様子も見受けられ、タクシー助成制度に切り替える事例もある。